

平成 26 年度 第 8 回理事会抄録

日時：平成 26 年 12 月 20 日（土）14：00～17：08

場所：一般社団法人日本作業療法士協会事務所 10 階会議室

出席：中村（会長）、山根、清水、荻原（副会長）、宇田、香山、苅山、小林正、陣内、土井、山本（常務理事）、小川、小林毅、谷、藤井、宮口（理事）、長尾（監事）

理事会の求めによる出席：伊藤（選挙管理委員長）、岡本（財務担当）、富岡（WFOT 代表）、清水（連絡協議会会長）

*理事会に先立ち、理事勉強会として山口和之参議院議員との意見交換会が行われた。

I 報告事項

1. 平成 27 年度役員改選について（伊藤選挙管理委員長）当協会が採用している代議員制では、会員による選挙は法的な意味はないが、会員が意見表明する機会として役員候補者選挙を行っている。しかし投票率が約 10%前後となっているため、意見表明の場として費用対効果が低いと考えており、今回の結果によっては今後実施しない方向を含んだ検討を行いたい。役員は総会時に代議員の投票により選出される。代議員改選については平成 27 年 6 月 1 日を会員データの確定日とし、8 月 15 日公示、投票期間 11 月 1 日～22 日とする。結果は 12 月 11 日、協会ホームページで報告する。
2. 学術誌『作業療法』掲載論文の表彰に関する規程（修正案）について（荻原事務局長）第 7 回理事会の意見を踏まえ、規程の修正を行った。
3. 47 都道府県委員会（仮称）の準備状況について（宇田 47 都道府県委員会（仮称）準備委員長）平成 27 年 2 月 15 日開催の生活行為向上マネジメントの会議においてキックオフ会議を行う。平成 27 年度は制度対策関連を中心テーマとして、4 回開催する予定。
4. G7 認知症サミット出席報告（小川認知症の人の生活支援推進委員長）11 月 5 日～7 日開催された。日本作業療法士協会、日本理学療法士協会、日本言語聴覚療法士協会合同でブース展示、地域支援、社会資源の創設・充実、早期退院の促進をテーマにプレゼンした。
5. 「多職種連携教育および実践における到達目標（コンピテンシー）共同開発に関するお願い」への対応について（荻原事務局長）多職種連携教育および実践における到達目標共同開発の研究をしていく上で、関連職種団体にヒヤリングをしたい旨の依頼があり、教育部で対応していただく。
6. 第 3 回アジア太平洋 CBR 会議への協力について（中村会長）平成 27 年 9 月 1 日～3 日、

東京で開催予定の会議への協力依頼と参加の呼びかけがあった。協会ホームページ、機関誌で広報する。協力団体として名を連ねる。

7. **50周年記念式典の会場と日程の暫定案について**（清水副会長）平成28年9月25日に都内のホテルで開催予定。従来、日本理学療法士協会と共催だったが、50周年は単独で開催する。

8. **渉外活動報告** 文書報告

清水連絡協議会会長:11月15日にレジリエンス推進協議会事務局長金谷氏と打合せした。

9. **ジャパン・レジリエンス・アワードへの応募について**（香山災害対策室長）11月14日より応募が開始された。岩泉町での取り組みについて応募する予定。

10. **生活行為向上マネジメント推進プロジェクト情報発信資料について**（土井MTDLP推進プロジェクト委員長）12月から各士会の推進委員に情報を定期配信する。関連団体や介護事業関連企業からの研修会実施の依頼について、依頼を受ける際の留意点などの情報を発信する。同文書を各士会長へも配信する。

11. **日本作業療法士連盟報告**（谷連盟担当理事）岡山県「作業療法の未来を考える会」発足予定。梶屋氏、田野瀬氏、とよた氏と政策協定締結。政治パーティー（2ヶ所）に参加。

12. **訪問リハビリテーション振興財団報告**（谷財団担当理事）11月19日に訪問リハビリテーション振興財団平成26年度第2回理事会が開催され、役員の交代、職員の待遇改善、事業所機能の強化等について検討した。

II 審議事項

1. **会長の常勤化について**（中村会長）平成27年4月1日より会長が常勤勤務する。 →承認

2. **平成27年度事業計画および予算案について**（香山財務担当理事）各部・各委員会にヒヤリングを行った。精査・修正が必要なので、次月の理事会で審議する。 →継続審議

3. **役員選出規程（改定案）について**（荻原事務局長）選挙管理委員会の構成員を6名から10名に増員する。定款に合わせて理事定数を20名以上23名以内に変更し、投票様式を候補者ごとに賛成の意を表明する記号式投票とする。 →承認

4. **①一般社団法人日本作業療法士協会が行う研究に関する倫理指針（案）について**（荻原事務局長）厚生労働省の「臨床研究に関する倫理指針」に準拠し、「人を対象とした医学系研究に関する倫理指針（草案）」も参考にして案を作成した。 →承認

- ②研究倫理審査委員会規程（案）について（荻原事務局長）委員会設置については理事会において承認済み。常設委員会とし、独立した委員会として位置づける。 →承認
5. 平成 27 年度課題研究助成制度採択研究について（小林正学術部長）課題研究Ⅰについて1題、課題研究Ⅱについて4題の研究課題を助成推薦課題として決定した。 →承認
6. 第2回アジア地域との交流会について（清水国際部長）アジア地域との交流・連携に関する提案書を作成し、理事会での審議・承認を得て、案内を各国・地域に向けて発信する。会議の内容についての提案は年末までに国際部に提出する。 →承認
7. 会員の入退会について（荻原事務局長）会費未納による会員資格喪失後の再入会希望者9名。未納分は精算済み。死亡による退会3名。 →承認
8. その他
- ①事務員採用について（荻原事務局長）事務員1名採用。平成27年5月から東京事務所で6ヶ月の研修後、京都事務所に勤務する。 →承認
- ②機関誌1月号掲載予定の記事について（荻原事務局長）各理事に新年の挨拶原稿の依頼をしたが、会長の年頭挨拶のみの掲載とする。 →承認